



みんな働く  
みんな生きる

「あたらしい働き方のはなし」

「小さな共生社会」をつくる新しい働き方  
スカイツリーの下で繰り広げられる  
まちの人々とワーカーズコープの物語

上映当日  
湯浅 誠さんが登場!!



森 康行 監督作品

photo by 中川賢俊

# Workers

## ワーカーズ

製作・著作：日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団  
 配給：映面上映委員会 一般社団法人 日本社会連帯機構 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会  
 後援：2012 国際協同組合年全国実行委員会  
 原案・企画：永戸祐三 監督：森 康行 ナレーション：宮崎美子 ショートコント：松元ヒロ 撮影：西島房宏  
 編集：古賀陽一 音楽：加藤敏樹 音楽効果：八重樫健二 録音：東京テレビセンター  
 2012年 日本 ドキュメンタリー 94分 カラー 16-9 HDCAM

<http://www.workers-movie.com>

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会



さまざまな人生を歩んできた人々が集まり

第二の人生が始まる...



子ども会の復活を大先輩とともに...  
餅つきってこんなに大変だったんだ?!



地域は家族!



今の子育てには、夜遅くまで過ごせて  
ごはんも食べられる(第2のおうち)が必要だ!

成果主義・効率優先・格差・貧困・孤立がすすむなか、働くことに生きがいを持ってない時代。それでも国は経済成長を最優先課題として拡大再生産を繰り返し、グローバル化に突き進んでいます。働く場を求めても他人と比べられ、選別され、未来への希望が見出せなくなっている若者たち。いっとうなるかもわからない非正規雇用の蔓延。そして居場所さえ失う人々と、大きな不安が私たちを覆っています。このような時代、私たちは何を求め、未来をみつめていくのでしょうか。世の中をめまぐるしい変化の中で、あらためて人と人、地域、社会との結びつきを再生することが求められています。

自分たちの明日を自分たちで耕しはじめている人々があります。

雇う者、雇われる人と言う関係ではなく経営方針から地域に必要な仕事おこしまで、一つ一つをみんなで決めていく...ちょっと面倒臭い、けど、てんてこ舞いしながら話し合いを繰り返すなかで、「ハタラキガイ」や「キズナ」が育まれます。どこかにある桃源郷ではなく、地域の中に溶け込んで、ところを合わせ、力を合わせ、助け合って歩いていく。そこには新しい時代にむけてのかすかな光への芽生えがありました。

身寄りのないお年寄りの生活を支える  
(家探しや引っ越し、葬儀まで...!)



森 康行 監督作品

# Workers

## ワーカーズ

監督: 森 康行 1950年静岡県生まれ。1978年、短編の文化映画「下町の民家」(東京都の制作)で初監督。以後、数多くの短編記録映画を生み出すと共に、テレビドキュメンタリーの演出をてがけている。主な作品として、「ビキニの海は忘れない」(キネマ旬報文化映画ベストテン10位)、「渡り川」(キネマ旬報文化映画ベストテン1位・毎日映画コンクール記録映画文化賞)、「こばんは」(キネマ旬報文化映画1位・毎日映画コンクール記録映画文化賞・第1回日本記録映画大賞)、「かすかな光へ」(キネマ旬報文化映画8位)。

チケットのご購入は、  
ミュージックチケットカウンター(電話:午前10時~午後6時、窓口午前10時~午後7時)04-2998-7777  
森の102工房(中富1730-10)午前9時~午後5時、04-2968-8512

後援 所沢市 所沢市教育委員会 所沢商工会議所 所沢市社会福祉協議会  
一般社団法人 埼玉県経営者協会 株式会社 セキュリティ 有限会社 セキュリティ・ライセンス・KOB

西武新宿線 航空公園駅東口下車徒歩10分 所沢ICより15分

2013 7/6 (土)

所沢市民文化センター  
ミュージック中ホール

特別鑑賞券発売中 1000円

当日料金(税込):一般1500円/大学・専門1300円/  
中学・高校・シニア1000円

お問い合わせ先:映画「ワーカーズ」上映所沢実行委員会事務局(森の102工房内)TEL04-2968-8512

びあ  
初日満足度ランキング  
第1位!  
(2/2公開 びあ映画生活)

13:15開場

13:30開演

航空公園駅

東口

市役所

ミュージック